

# 施策マネジメントシート

作成日 平成 30 年 8 月 31 日

施策	No. 12	憩いと癒しの空間づくり					
施策 主管課	まちづくり整備課	氏名	佐藤直規	施策 関係課	農林振興課、市民活動支援課		

## 1. 現状把握 Plan→Do

### (1) 施策の目的と指標

① 対象 (誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等 ◇市民 ◇区域	③ 対象指標名称 (対象の大きさを表す指標) 数字は記入しない (単位)
	a 笛吹市の人口<4月1日現在> 人
	b 笛吹市の面積 km <sup>2</sup>
② 意図 (対象をどういう状態に変えるのか) ◇花や緑に囲まれ、身近に自然とふれあうことができる。	④ 成果指標名称 (意図の達成度の指標) 数字は記入しない (単位)
	d 市民一人当たりの公園・緑地面積 m <sup>2</sup>
	e 花づくり団体数 団体
	f 身近に自然とふれあうことができると感じている市民の割合 %
	g 公園を利用している市民の割合 %
⑤ 成果指標設定の考え方 ◇身近に自然とふれあうことができるかを市民に聞く。 ◇花や緑に囲まれ、身近に自然とふれあうことができるかを、市民一人当たりの緑地面積(都市公園、その他の公園)で判断する。	⑥ 成果指標の取得方法 ◇まちづくり基礎調査⇒設問「あなたは、地域が花や緑にあふれ、身近に自然とふれあうことができると感じていますか。」 ◇緑地面積は、市町村別公共施設状況調の面積を使用。 ◇まちづくり基礎調査⇒設問「あなたは、市内の公園を利用していますか。」

			23年度 実績、決算	24年度 実績、決算	25年度 実績、決算	26年度 実績、決算	27年度 実績、決算	28年度 実績、決算	29年度 最終目標
対象 指標	a 笛吹市の人口<4月1日現在>	人	見込み値 72,000	72,000	72,000	72,000	72,000	72,000	72,000
			実績値 72,192	72,145	71,724	71,132	70,749	70,599	69,861
	b 笛吹市の面積	km <sup>2</sup>	見込み値 201.92	201.92	201.92	201.92	201.92	201.92	201.92
			実績値 201.92	201.92	201.92	201.92	201.92	201.92	201.92
	c		見込み値						
			実績値						
成果 指標	d 市民一人当たりの公園・緑地面積	m <sup>2</sup>	成り行き値 8.51	8.52	8.49	8.70	8.70	8.70	8.70
			目標値 8.52	8.53	8.49	8.70	8.70	8.70	9.15
			実績値 8.49	8.65	9.41	9.52	9.60	9.60	9.70
	e 花づくり団体数	団体	成り行き値			65	65	65	65
			目標値			67	70	72	74
			実績値 (65)	(65)	64	73	73	86	83
	f 身近に自然とふれあうことができると感じている市民の割合	%	成り行き値 68.0	68.0	69.2	69.2	69.2	69.2	69.2
			目標値 72.0	70.4	71.1	71.8	72.5	73.3	74.0
			実績値 69.7	73.4	68.3	-	-	-	71.5
	g 公園を利用している市民の割合	%	成り行き値 36.0	36.0	37.4	37.4	37.4	37.4	37.4
			目標値 38.0	39.0	39.4	39.8	40.2	40.6	41.0
			実績値 38.6	40.8	38.9	-	-	-	34.0
h		成り行き値							
		目標値							
		実績値							
施策コスト	事務事業数	本	8	8	4	3	3	3	
	事業費 (A)	千円	75,775	102,047	116,498	86,618	88,555	91,890	71,990
施策に係る 事務事業 コストの合計	うち一般財源 (A')	千円	52,549	60,157	65,487	86,478	75,165	83,315	71,850
	人件費 (B)	千円	16,414	16,402	15,035	15,501	9,163	14,206	10,897
	トータルコスト (A+B) (C)	千円	92,189	118,449	131,533	102,119	97,718	106,096	82,887
	うち一財 (A'+B) (C')	千円	68,963	76,559	80,522	101,979	84,328	97,521	82,747

### (3) 施策の目標設定の根拠 (水準の理由と前提条件)

◇後期基本計画策定に伴い成り行き値、目標値の再設定を行った。  
 ◇身近に自然とふれあうことができると感じている市民の割合:成り行き値はH20年度実績値程度を据え置く。目標値はH24年度実績値を基に毎年0.3%ずつ向上と設定する。  
 ◇市民一人当たりの緑地面積:市町村別公共施設状況調から、成り行き値は人口の推移等を考慮し設定。目標値は、H25年度までは人口の推移程度で設定。「緑の基本計画(公園整備計画)」はH30年度に9.3m<sup>2</sup>を目標と設定  
 ◇公園を利用している市民の割合:成り行き値はH21年度実績値程度を据え置く。目標値はH23年度実績値を基にH24年度に39%と設定。  
 ◇花づくり団体数:成り行き値はH24年度実績値(65団体)程度を据え置く。目標値はH24年度実績値を基にH26年度までに70団体と設定し、H27年度以降は毎年2団体の増で設定した。

### (4) 施策の役割分担 (住民と行政との役割分担)

<b>ア) 住民の役割</b> (住民・地域・団体・事業所が、自助・共助でやるべきこと) ◇市民は、広場・公園の清掃管理や花の植栽を行う。自宅に庭木を植える。行政が行う自然とふれあうイベントや緑化イベントに積極的に参加する。 ◇地域は、公園や広場でイベントを開催する。	<b>イ) 行政の役割</b> (市・県・国がやるべきこと) ◇市は、公園を管理する。団体や地域の植栽・緑化活動を支援する。 ◇自然とふれあうイベントを支援する。 ◇街路樹を整備する。
--	---

(5)環境変化 (対象者や根拠法令等は5年前と比べてどう変わったのか?)

(6)関係者の意見・要望 (住民、議会、対象者、利害関係者等)

<p>◇公園管理業務の一部に指定管理を導入した。          ◇H27年度リニアの見える丘整備事業を実施し完成した。          ◇H28年度に県民緑化まつりを開催。</p>	<p>◇市民…子供が安全に遊べる場所や高齢者が安心してのんびり過ごせる場所がほしい。笛吹川沿岸や水辺空間の環境整備を進めてほしい。一人ひとりの意識を高めて笛吹の美しい山や川の自然を守りたいとの意見がある。</p>
---	--

2. H29年度の施策の実績 Check

(1)施策の成果実績

<p>① 目標達成度評価 (前年度目標値と実績値との比較)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 目標値より高い実績値だった</li> <li>○ 目標値どおりの実績値だった</li> <li>○ 目標値より低い実績値だった</li> </ul>	<p>⇒左記の背景として考えられること</p> <p>◇市民一人当たりの公園・緑地面積は、目標値9.15㎡に対し、実績値は9.7㎡と高い数値であった。(緑の基本計画による緑化推進の成果)</p> <p>◇「身近に自然とふれあうことができると感じている」市民の割合、71.5%</p> <p>◇公園を利用している市民の割合、34.0%</p> <p>◇花づくり団体数は、目標値74団体に対して実績値83団体と高い数値であった。(広報等の啓発活動により維持されている。)</p>
<p>② 時系列比較 (過去3か年の比較)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 成果がかなり向上した</li> <li>● 成果がどちらかと言えば向上した</li> <li>○ 成果はほとんど変わらない(横ばい状態)</li> <li>○ 成果がどちらかと言えば低下した</li> <li>○ 成果がかなり低下した</li> </ul>	<p>⇒左記の背景として考えられること</p> <p>◇市民一人当たりの公園・緑地面積は、H27・28年度9.6㎡、H29年度9.7㎡とやや増加傾向であった。(緑の基本計画による緑化推進の成果)</p> <p>◇「身近に自然とふれあうことができると感じている」市民の割合は、H25年度の68.3%から71.5%と上昇した。</p> <p>◇「公園を利用している」市民の割合は、H25年度の38.9%から34.0%と下がった。</p> <p>◇花づくり団体数は、27年度73団体、H28年度86団体、H29年度は83団体となっている。(行政区長会等各種団体に出向き花のまちづくり施策の説明を行った事の成果が現れてきている。)</p>
<p>③ 他自治体との成果実績値の比較</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 他自治体と比べてかなり高い成果水準である</li> <li>○ 他自治体と比べてどちらかと言えば高い成果水準である</li> <li>○ 他自治体と比べてほぼ同水準である</li> <li>● 他自治体と比べてどちらかと言えば低い成果水準である</li> <li>○ 他自治体と比べてかなり低い成果水準である</li> </ul> <p>比較自治体名</p> <p>甲斐市、南アルプス市、山梨市</p>	<p>⇒左記の背景として考えられること</p> <p>◇市民一人当たりの公園・緑地面積は、笛吹市9.70㎡、甲斐市7.06㎡、南ア市12.70㎡、山梨市10.70㎡、山梨県平均は10.9㎡と他市よりやや低い水準である。</p> <p>◇「身近に自然とふれあうことができると感じている」市民の割合については、近隣市において毎年同様のアンケートは実施していないため、比較は行っていない。</p> <p>◇「公園を利用している」市民の割合については、近隣市において毎年同様のアンケートは実施していないため、比較は行っていない。</p> <p>◇花づくり団体は、行政区、公的機関を含めて、笛吹市83団体、甲斐市66団体、南アルプス市153団体(山梨市把握していない)と他市より低い水準である。</p>

(2)施策のコスト実績 (対象1単位当たり又は住民一人当たりのコスト)

対象指標名称⇒ 笛吹市の人口<4月1日現在>	(単位)	27年度	28年度	29年度	効率性評価
*対象指標実績値 (D) (1枚目 a)	人	70,749	70,599	69,861	◇昨年度と比較し、全体事業費を減らすことができた。成果実績も向上しており、効率的に事業執行できていると考えられる。
*対象1単位当たり事業費 (1枚目 A/D)	円	1,252	1,302	1,030	
*対象1単位当たり人件費 (1枚目 B/D)	円	130	201	156	
*対象1単位当たりトータルコスト (1枚目 C/D)	円	1,381	1,503	1,186	

3.最終的な施策の総括 Action

(1)達成状況の分析(理由と改善点)

<p>◇H27年度に策定した公園長寿命化計画に基づき老朽化した施設・遊具等の更新や改修を進める必要があるが、予算確保が難しく更新や改修が遅れている。また、これからの利用形態や資源の活用を取り入れてリニューアルや管理体制の方法などを検討する必要がある。</p> <p>◇花のまちづくり推進事業については、更に市民自らが花に親しみ潤いのあるまちづくりの市民意識の啓発に努める必要がある。</p>
---